令和９・10・11年度「民間事業者を活用した課外授業（ヨドジュク）」にかかる
公募型企画競争方式（プロポーザル方式）による選定結果について

１　案件名称
令和９・10・11年度「民間事業者を活用した課外授業（ヨドジュク）」
事業実施期間　協定書締結日から令和12年３月31日まで

２　選定した協定締結予定事業者
株式会社トライグループ

３　参加申請期間
令和８年８月25日から令和８年９月25日

４　学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果
(1) 選定委員名簿（敬称略）

委員氏名	役職等
関口　洋平	大阪公立大学大学院文学研究科人間行動学専攻准教授
小西　豊樹	中小企業診断士
大政　和彦	大阪市立宮原中学校長

(2) 選定会議の開催日
第１回：令和８年８月21日（金曜日）
第２回：令和８年10月22日（木曜日）

(3) 審査基準

審査項目	審査内容	配点
ア　事業内容の実現性、実施手順の妥当性・事業目的に対する手法の的確性、専門性	1　提案された講師の配置体制が、子どもの習熟に応じた指導が可能なものである。 2　提案された人材確保策により、事業目的を達するに足る人材の確保が見込まれる。 3　提案された指導方法や教材の内容が、具体的に基礎学力の向上に資するものである。 4　受講者の習熟度・理解度の把握と分析、その結果の指導への反映が充分に行われる内容となっている。 5　提案された事業実施スケジュールが具体的であり、事業目的を達成するために充分である。	35点

イ　家庭での学習についての指導	6　家庭における学習について、学習習慣の形成に資するような指導方法や教材の内容となっている。	10点
ウ　事業目的及び事業内容の理解度	7　指導方法など、実施内容について事業の主旨をよく理解したものであり、的確な考え方が示されている。	15点
エ　事業の遂行能力	8　当該事業に類似した事業実績があり、提案した事業を確実に遂行できる運営基盤がある。	5点
オ　教材の内容（ＩＣＴ教材やその他媒体教材の工夫）	9　教材の内容（ＩＣＴ教材やその他媒体教材の工夫）・活用方法について、受講者の習熟度・理解度の把握や、習熟度・理解度に応じた指導を効果的に実施できるものとなっている。	5点
カ　危機管理体制	10　安全・危機管理の体制が適切に計画されている。	10点
キ　費用積算根拠の妥当性・効率性（教育への還元）	11　総合的に、収支計画が具体的かつ妥当性を有しており実行可能なものである。 12　施設使用料が不要な分が受講生に還元される仕組みがとれている積算である。	20点
合　　計		100点

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

株式会社イング

株式会社トライグループ

全２者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）（合計点の高い順）

審査項目	Ａ社	Ｂ社
ア　事業内容の実現性、実施手順の妥当性・事業目的に対する手法の的確性、専門性	101点	102点
イ　家庭での学習についての指導	26点	28点
ウ　事業目的及び事業内容の理解度	45点	42点
エ　事業の遂行能力	14点	15点
オ　教材の内容（ＩＣＴ教材やその他媒体教材の工夫）	14点	15点
カ　危機管理体制	30点	30点
キ　費用積算根拠の妥当性・効率性	54点	54点
合　　計	284点	286点